



平成 22 年 11 月 8 日

各 位

会社名 神田通信機株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松丸美佐保  
(JASDAQ・コード番号: 1992)  
問合せ先  
役職・氏名 常務取締役管理本部長 長澤 順一  
電話番号 (03) 3252-7731

### 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (非連結) 業績予想との差異に関するお知らせ

平成 22 年 5 月 14 日に公表した平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日) の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

#### 1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値との差異 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	2,385	0	7	0	0円07銭
今回修正 (B)	2,035	△141	△127	△139	△16円41銭
増減額 (B-A)	△350	△141	△134	△139	—
増減率	△14.7%	—	—	—	—
(ご参考) 前第2四半期累計期間実績 (平成 22 年 3 月期)	2,322	1	10	5	0円67銭

#### 2. 業績予想との差異の理由

第 2 四半期累計期間のセグメント別の売上高につきましては、建設事業では、大手・中堅企業の ICT ソリューション関連設備工事等が計画を下回って推移したことにより、14 億 59 百万円 (計画 18 億 48 百万円) となり、情報システム事業では、独立行政法人を中心とした公会計システムはやや計画を下回ったものの、社会福祉システム等が計画を上回って推移したため、5 億 42 百万円 (計画 5 億 3 百万円) となりました。また、不動産賃貸事業の売上高は 33 百万円と計画どおりに推移いたしました。

利益面につきましては、売上高が受注・売上案件の下期へのずれ込みや来期以降への計画の延期等により、20 億 35 百万円と計画を下回って推移 (計画 23 億 85 百万円) したことにより、営業損失は 1 億 41 百万円、経常損失は 1 億 27 百万円となりました。四半期純損失につきましては、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額 4 百万円を特別損失に計上したこと等により、1 億 39 百万円となりました。

なお、通期業績予想につきましては、第 2 四半期末の受注残高の増加に伴う売上高の増加と原価低減や経費削減を実施し、利益確保に努めることにより、現時点では前回発表の予想値に変更はありません。

※上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上